



平成29年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年3月13日

上場会社名 株式会社ジャパンミート 上場取引所 東
 コード番号 3539 URL http://www.japanmeat.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)境 正博
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経理部長 (氏名)杉山 洋子 (TEL)03(6453)6810
 四半期報告書提出予定日 平成29年3月14日 配当支払開始予定日 平成29年4月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年7月期第2四半期の連結業績(平成28年8月1日～平成29年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第2四半期	51,879	5.4	2,385	0.1	2,447	0.5	1,425	△11.4
28年7月期第2四半期	49,230	—	2,381	—	2,435	—	1,609	—

(注) 包括利益 29年7月期第2四半期 1,521百万円(△3.8%) 28年7月期第2四半期 1,581百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第2四半期	53.44	—
28年7月期第2四半期	72.18	—

(注) 平成28年2月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年7月期第2四半期	34,096	20,740	60.8
28年7月期	35,705	19,486	54.6

(参考) 自己資本 29年7月期第2四半期 20,740百万円 28年7月期 19,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年7月期	—	10.00	—	—	—
29年7月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年7月期の連結業績予想(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,331	3.2	4,295	0.3	4,394	2.4	2,440	△4.6	91.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年7月期2Q	26,679,500株	28年7月期	26,679,500株
29年7月期2Q	—	28年7月期	—
29年7月期2Q	26,679,500株	28年7月期2Q	22,299,500株

- (注) 当社は平成28年2月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年8月1日～平成29年1月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善など好循環が広がりつつある中で、2016年前半の新興国経済等の海外経済の弱さや資源価格の低下の動きが一服したことにより、企業の業況観も改善をみせ、生産面を中心に緩やかな回復基調が続いています。しかし、企業の設備投資や個人消費といった支出面への波及はまだ十分ではなく、物価についても国内の賃金上昇による押下げ効果を輸入品の価格押下げ効果が相殺し、横ばいの動きが続いております。

小売業界の経営を取り巻く環境は、少子高齢化により業界規模が縮小していく恐れがあるほか、足元では節約志向の高まりによる買い控え、人口減少による顧客数の減少、食料品を扱う他業態との競争の激化、ネットショップ・オンラインショップなど他業界への顧客の流出など、引き続き厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、お客様の暮らしの基本である食を通して、安心・安全を守り、値頃感がある商品展開をすすめ、変化に富んだ店づくりをすることで、さらなるご支持をいただけるような店舗運営に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は51,879百万円と前年同四半期と比べて2,649百万円(5.4%)の増収、営業利益は2,385百万円と前年同四半期と比べて4百万円(0.1%)の増益、経常利益は2,447百万円と前年同四半期と比べて12百万円(0.5%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,425百万円と前年同四半期と比べて183百万円(11.4%)の減益となりました。

当社グループにおける事業セグメントごとの状況は、次のとおりであります。

① スーパーマーケット事業

スーパーマーケット事業につきましては、大型商業施設内店舗「ジャパンミート生鮮館」、関東圏単独店舗「ジャパンミート卸売市場」、北関東で展開する地域密着型店舗「パワーマート」、東京都内を中心に展開する業務用スーパー「肉のハナマサ」を展開しております。

いずれの店舗におきましても、来店される顧客が楽しんでお買い物ができる店づくりを目指し、当社グループの強みでもある精肉部門を中心とした生鮮各部門および一般食品から惣菜にいたるまで、それぞれの部門が商品力・技術力に磨きをかけ、顧客のニーズにあった値頃感のある商品展開をすすめ、より安心・安全な商品を提供できるよう、努めてまいりました。

商品の販売につきましては、特定の商品を大量に陳列し、値頃感がある商品を顧客へアピールをすることで購買意欲を高める「異常値販売」を定期的を実施することで、顧客数及び顧客当たりの買上点数増加につながり、売上高が増加しました。

また、平成28年6月より茨城県東茨城郡に新設しました新加工物流センターでの大量かつ効率的な精肉加工に加え、店舗内においても必要に応じて精肉加工を行い、売れ筋に対応した商品の速やかな提供により販売機会のロス削減するなど、戦略的、効率的な販売に努めております。商品の仕入につきましては、当社の新加工物流センターにおける大量備蓄機能を活用することで、食材価格変動の影響を受けにくい商品仕入体制を構築し、採算の安定と商品在庫の確保を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間の設備投資の状況は、平成28年10月に「肉のハナマサ」立川店(東京都立川市)、12月に「ジャパンミート卸売市場」越谷店(埼玉県越谷市)を開店いたしました。また、既存店舗におきましては平成28年10月に「パワーマート」見川店、「ジャパンミート生鮮館」守谷店の改装を行いました。これにより当第2四半期連結会計期間末時点におけるスーパーマーケット事業の店舗数は77店舗になりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるスーパーマーケット事業の売上高は50,929百万円と前年同四半期と比べて2,561百万円(5.3%)の増収、セグメント利益(営業利益)は2,257百万円と前年同四半期と比べて13百万円(0.6%)の減益となりました。

② その他

その他につきましては、主に「焼肉や漫遊亭」などの外食事業を展開しております。当第2四半期連結累計期間におきましても、得意とする精肉の調達力、ノウハウを活かし、新鮮で高品質な料理を安価でご提供できるよう努めてまいりました。また、おいしい商品と快適な食事空間を提供するという基本方針のもと、新メニューの開発をすすめ、他店との差別化を図り、お客様が楽しく食事ができる店づくりに努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高は1,262百万円と前年同四半期と比べて129百万円(11.4%)の増収、セグメント利益(営業利益)は118百万円と前年同四半期と比べて16百万円(16.3%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間における総資産は34,096百万円となり、前連結会計年度と比べ1,608百万円の減少となりました。主な要因は、前期末日が休日であったことから資金決済が当期に持ち越されたことを含む現金及び預金の減少1,650百万円、設備投資による有形固定資産の増加231百万円、のれんの償却による169百万円の減少であります。

当第2四半期連結会計期間における負債は13,355百万円となり、前連結会計年度と比べ2,862百万円の減少となりました。主な要因は、前期末日が休日であったことから決済が当期に持ち越されたことを含む買掛金及び未払金の減少額2,956百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間における純資産は20,740百万円となり、前連結会計年度と比べ1,254百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加額1,158百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、7,408百万円(前年同四半期8,290百万円)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、150百万円(前年同四半期比95.5%減)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益2,547百万円(前年同四半期比5.8%減)、仕入債務の減少額2,027百万円(前年同四半期は1,898百万円の増加)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、1,009百万円(前年同四半期比34.1%減)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出1,211百万円(前年同四半期比23.4%減)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、500百万円(前年同四半期は資金の増加250百万円)となりました。これは、主に配当金の支払額266百万円(前年同四半期は22百万円)及び長期借入金の返済による支出214百万円(前年同四半期比37.0%減)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、平成28年9月13日付発表の「平成28年7月期 決算短信」の記載から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,429	8,778
売掛金	969	979
たな卸資産	3,462	3,878
その他	2,479	1,838
流動資産合計	17,340	15,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,733	6,854
その他(純額)	3,904	4,014
有形固定資産合計	10,637	10,868
無形固定資産		
のれん	2,434	2,264
その他	166	145
無形固定資産合計	2,601	2,410
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,044	4,144
その他	1,109	1,226
貸倒引当金	△27	△28
投資その他の資産合計	5,126	5,342
固定資産合計	18,365	18,622
資産合計	35,705	34,096

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,444	4,417
短期借入金	846	846
1年内返済予定の長期借入金	399	419
未払法人税等	1,285	1,192
賞与引当金	279	288
その他	3,263	2,486
流動負債合計	12,518	9,651
固定負債		
長期借入金	2,475	2,340
退職給付に係る負債	275	291
資産除去債務	418	427
その他	531	645
固定負債合計	3,699	3,704
負債合計	16,218	13,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,229	2,229
資本剰余金	2,350	2,350
利益剰余金	14,763	15,922
株主資本合計	19,342	20,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149	244
退職給付に係る調整累計額	△6	△5
その他の包括利益累計額合計	143	239
純資産合計	19,486	20,740
負債純資産合計	35,705	34,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)
売上高	49,230	51,879
売上原価	34,939	36,845
売上総利益	14,291	15,033
販売費及び一般管理費	11,909	12,648
営業利益	2,381	2,385
営業外収益		
受取ロイヤリティー	35	33
受取手数料	12	4
その他	24	37
営業外収益合計	72	75
営業外費用		
支払利息	15	10
その他	2	2
営業外費用合計	18	12
経常利益	2,435	2,447
特別利益		
受取補償金	270	99
特別利益合計	270	99
税金等調整前四半期純利益	2,705	2,547
法人税、住民税及び事業税	1,082	1,106
法人税等調整額	13	15
法人税等合計	1,095	1,121
四半期純利益	1,609	1,425
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,609	1,425

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)
四半期純利益	1,609	1,425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	94
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△28	95
四半期包括利益	1,581	1,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,581	1,521
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,705	2,547
減価償却費	405	558
のれん償却額	169	169
受取補償金	△270	△99
売上債権の増減額(△は増加)	△210	△10
たな卸資産の増減額(△は増加)	85	△416
仕入債務の増減額(△は減少)	1,898	△2,027
預け金の増減額(△は増加)	△545	453
その他	127	73
小計	4,366	1,248
利息及び配当金の受取額	6	7
利息の支払額	△12	△5
補償金の受取額	270	99
法人税等の支払額	△1,244	△1,198
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,386	150
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△876	△1,166
定期預金の払戻による収入	790	1,457
有形固定資産の取得による支出	△1,581	△1,211
敷金及び保証金の差入による支出	△9	△158
敷金及び保証金の回収による収入	154	58
その他	△7	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,530	△1,009
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100	—
長期借入れによる収入	630	100
長期借入金の返済による支出	△341	△214
リース債務の返済による支出	△116	△118
配当金の支払額	△22	△266
財務活動によるキャッシュ・フロー	250	△500
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,106	△1,359
現金及び現金同等物の期首残高	6,183	8,767
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,290	7,408

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年8月1日 至 平成28年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	スーパー マーケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	48,097	1,132	49,230	—	49,230
セグメント間の内部売上高 又は振替高	269	—	269	△269	—
計	48,367	1,132	49,500	△269	49,230
セグメント利益	2,271	101	2,373	8	2,381

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	スーパー マーケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	50,617	1,262	51,879	—	51,879
セグメント間の内部売上高 又は振替高	312	—	312	△312	—
計	50,929	1,262	52,191	△312	51,879
セグメント利益	2,257	118	2,376	9	2,385

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。